

番号	氏名	抱負
181	南部 秀和	これまでの部会事業運営、プログラム委員や代議員活動等を通じて培った経験と実績を今後の学会運営に生かすことができればと思い立候補いたしました。魅力ある事業展開や情報発信を通じて、公益性を保ちつつ、会員のニーズにバランスよく答え会員減少傾向に歯止めを打ち、より一層本学会が発展するよう、精一杯力を尽くす所存です。よろしくお願ひ申し上げます。
182	錦 成郎	財務担当理事として2年間携わってきたが、会員の浄財をいかに有効に活用するかの判断が非常に難しいことを痛感した。公益法人として世の中に貢献することと、会員への還元のバランスが重要であると常に重視している。本学会が掲げる国際化策は、会員に自然な形で受け入れられる着地点を常に探ることが特に重要であるとともに、世界中の研究者と協働できる環境整備につながるよう、微力ながら努力したいと考えている。
183	西出 裕子	現在、本学会において、教育委員会委員、学術交流委員会副委員長、乳房撮影精度管理普及班班員として活動しています。医療分野・研究分野などにおける放射線技術学の発展において本学会の果たすべき役割は大きく、今後さらに学術レベルの向上を目指していく必要があると考えています。そのためには、教育制度の充実や国際化の推進など求められている課題も多く、微力ではありますが、学会の発展に努力していきたいと考えています。
184	西原 貞光	画像形成から画像解析・評価までの流れを、医学物理学と放射線技術学の両面から研究することが私の専門です。本学会が発刊した「放射線画像の形成過程と物理特性」をみていただくなと、私の概念が確認できます。診断放射線技師養成機関に携わる者として放射線技術学に関心を持ち患者のために貢献できる人材を育成するとともに、国民に対して放射線技術学の有用性を発信し続けることが公益社団法人に関わる者の務めだと考えています。
185	西丸 英治	私は前回、代議員を努めさせて頂きましたが志に反して会員の皆様に何か出来ただろうかと反省しております。今後は、学会の国際化と共に会員の学術化も推進して行きたいと思っております。会員のすべてが大学病院のように研究環境に恵まれているわけではないので、微力ながらもその方々の支援が出来るような仕組みを確立できるように努力して行きたいと考えております。宜しくお願ひ致します。
186	西山 徳深	中国・四国地区におけるCT検査技術の向上に務めていきたいと考えている。現状、病院による検査方法は大きく異なっている。特に被曝に関しては装置に依存する所もあるが一定の標準化が求められる。海外に比べ日本は撮影線量が多めではないかと、先日の総会で改めて認識することができた。今後技術学会と連携し、中国・四国地区に貢献していきたい。
187	根岸 徹	本学会代議員になれましたら、学術事業の推進とともに地域の活性化を行っていきたいと考えております。学術的な観点において、発表、論文等におけるSI単位使用の徹底などを推進したいと考えております。また地域の活性化においては、セミナーやフォーラムの内容の充実を図っていきたいと考えております。さらに、X線機器の精度管理の重要性を広めて行きたいと考えております。
188	根本 広文	より良い医療のために、安全で質の高い放射線技術の提供ならびに放射線被ばくの低減を促進し、職業倫理・研究倫理を備えた診療放射線技師の育成に微力ながら貢献していきたい。これまでの経験を活かし、県の代表として会員の意見を部会や本部へ、本部の考え方を地元会員へ、それぞれのパイプ役として日本放射線技術学会のスマーズな運営に非力ながら協力させて下さい。今後も会員増加と地位向上を目標に頑張りたい。
189	根本 道子	この度初めて、日本放射線技術学会の代議員に立候補させて頂くことになりました。22年間、都内大学病院にて勤務し、結婚・出産等を経て現在も2人の子育て中ではありますが、多くの方々のご支援を賜り、学会活動や大学院での研究にも参加する機会を頂いております。このような経験を生かし、性別や家庭環境に関わらず、臨床および学術的活動に多くの方々が参加できるよう、非力ながらもお役に立ちたいと考えております。
190	野田 孝浩	大垣市民病院に勤務し、今年で28年目の診療放射線技師です。現在は心カテを担当する一方で、医療安全管理者・インフェクションコントロールドクター等の認定資格を活かし、インシデント・アクシデントレポート解析や、院内感染ラウンドのリーダーを兼任しております。日本放射線技術学会では、評議員・代議員を4期勤めさせていただきました。特に、若い技師の教育のために全力で取り組みますので、よろしくお願ひ申し上げます。